

株式会社 東宝映画

メディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科

4年 細澤 瀬伶奈

1. 実習企業（団体）の概要

1971年11月東宝株式会社撮影所製作部、および企画部が中心となり設立された映画の製作プロダクション。東宝株式会社の前身である「P.C.L映画製作所」が現在の東宝スタジオ（世田谷区成城）で映画製作を開始して以来、その歴史と伝統を受け継ぎ、設立から39年間で160本を超える作品を製作し、幾多の名作・ヒット作を生み出してきた。昨今、メディアの進化と多様化、インターネットの高速化が進み、生活の中での「映像」のあり方や楽しみ方自体が大きく変容する中、より外に開かれた製作会社を目指している。

- ・設立 1971年11月8日
- ・資本金 1億円
- ・従業員数 25人
- ・所在地 東京都世田谷区成城 1-4-1
- ・取締役 佐藤 毅

2. 実習内容

エキストラの誘導、指導、弁当配給、会場設営、撮影の裏方の勉強。（台本や日々のスケジュールの読み方等・・・）

3. 実習の成果

映画を作る現場は自分が想像していたよりもはるかに大変で、たくさんの人達の協力が無いと良いものできないものだと思います。また、華やかな世界を作っている制作部は、寝られない日々が続くことがあっても誰も弱音を吐かず仕事をしており、その仕事が好きという気持ちや、1つの作品ができることで得られる達成感があるのだと思います。

4. 実習の感想

映画の現場を見ることは初めてでしたが、スタッフさんがとても優しく、カットの取り方やカメラワークの説明など、普段は知ることができないことをたくさん教えていただきました。自分達はエキストラの方に携わることが多かったので、主に、その方達とコミュニケーションを取ったり、お弁当を配りました。エキストラの方が集まらないと撮影が進まないことがあったり、大変なこともありましたが、最初は何をすればいいか、わかりませんでした。回数を重ねるうちに次は何をすればいいかわかるようになったので、やらせていただけることが増えていきました。実際の撮影現場もたくさん見させていただき、俳優部の方の演技を間近で見られたり、シーンごとの撮影の雰囲気や撮り方を学ばせて頂きました。制作部がやっている仕事は体力勝負が多いと感じました。このインターンシップを通して、制作部は朝早く、夜遅くまで業務があり大変でしたが、チームワーク力で1つの作品を作る思いが伝わり、やりがいを感じられました。人との繋がりが多くできたので、人との縁をこれからもっと大切にしようと思いました。

— 実習プログラム —

日数	実習日	実 習 内 容
1日目	5月2日(月)	打ち合わせ、現場体験
2日目	5月3日(火)	お弁当配置、ごみ袋設置、回収等
3日目	5月6日(金)	お弁当配置、ごみ袋設置、回収等
4日目	5月7日(土)	エキストラの方の誘導、お弁当配置、ごみ袋設置、回収
5日目	5月8日(日)	現場準備、エキストラの方の誘導、お弁当配置、ごみ袋設置、回収
6日目	5月14日(土)	現場準備、エキストラの方の誘導、お弁当配置、ごみ袋設置、回収
7日目	5月15日(日)	現場準備、エキストラの方の誘導、お弁当配置、ごみ袋設置、回収、 撤収作業
8日目	5月21日(土)	現場準備、エキストラの方の誘導、お弁当配置、ごみ袋設置、回収、 撤収作業